

1. 東京株式会社は、大阪株式会社から商品 300 円を仕入れ、代金は現金で支払いました。

【仕訳】

2. 東京株式会社は、先日 300 円で仕入れてきた商品を横浜株式会社に 150 円で売り上げ、現金 150 円を受け取りました。(三分法)

【仕訳】

3. 東京株式会社は、仕入先大阪株式会社より商品 300 円を仕入れ、代金は掛としました。

【仕訳】

4. 東京株式会社は、商品 150 円を得意先横浜株式会社に売上げ、代金は掛としました。

【仕訳】

5. 商品 100 円をクレジット払いの条件で販売した。なお、信販会社への手数料(販売代金の 2%)は販売時に計上しました。

【仕訳】

6. 東京株式会社は、大阪株式会社より掛けで仕入れた商品 300 円のうち 10 円を品違いのため、返品しました。

【仕訳】

7. 大阪株式会社より商品 300 円を仕入れ、代金は掛けとした。なお、引き取り運賃(当社負担) 30 円を現金で支払いました。

【仕訳】

8. 横浜株式会社へ商品 150 円に送料 10 円を加えた合計額で販売し、代金は掛けとした。なお、送料 10 円を現金で支払いました。

【仕訳】

9. 東京株式会社は、横浜株式会社に商品 150 円を売り上げ、代金は同社振出の小切手で受け取りました。

【仕訳】

10. 12 月 15 日、現金の帳簿残高は 120 円であるが、実際有高を調べたところ、100 円でした。

【仕訳】

11. 12 月 25 日、12 月 15 日に発生していた現金の不足額 20 円の原因を調べたところ、10 円は通信費の計上漏れであることがわかりました。なお、12 月 15 日に次の仕訳をしていました。

(現金過不足) 20 / (現金) 20

【仕訳】

12. 3 月 31 日、決算日において現金過不足(借方)が 10 円あるが、原因が不足なので、雑損として処理します。

【仕訳】

1. 仕入 300 / 現金 300
2. 現金 150 / 売上 150
3. 仕入 300 / 買掛金 300
4. 売掛金 150 / 売上 150
5. クレジット売掛金 98 / 売上 100
支払手数料 2
6. 買掛金 10 / 仕入 10
7. 仕入 330 / 買掛金 300
現金 30
8. 売掛金 160 / 売上 160
発送費 10 / 現金 10
9. 現金 150 / 売上 150
10. 現金過不足 20 / 現金 20
11. 通信費 10 / 現金過不足 10
12. 雑損 10 / 現金過不足 10